

古文ドリル：動詞の活用の種類・活用形 100問

対象：高校生・大学受験生 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：動詞の9種類の活用

古文の動詞は **9種類** の活用形を持ちます。

活用	例	識別法
四段	書く・行く	「a/i/u/u/e/e」
上一段	見る・煮る	「i/i/iru/iru/ire/iyo」
上二段	起く・落つ	「i/i/u/uru/ure/iyo」
下一段	蹴る	「e/e/eru/eru/ere/eyo」(蹴るのみ)
下二段	受く・寝る	「e/e/u/uru/ure/eyo」
カ変	来	「こ/き/く/くる/くれ/こ」
サ変	す・おはす	「せ/し/す/する/すれ/せよ」
ナ変	死ぬ・往ぬ	「な/に/ぬ/ぬる/ぬれ/ね」
ラ変	あり・をり・侍り・いまそかり	「ら/り/り/る/れ/れ」

活用形の名前

活用形	続く語
未然形	ず・む・ば・じ・ぬ等
連用形	き・けり・たり・て等
終止形	文末・らむ・べし等
連体形	体言・「に」「を」
已然形	ば・ど・ども・こそ
命令形	文末で命令

識別の鉄則

1. 動詞に「ず」をつけて「ず」の **直前の音** を見る
2. a段 → 四段
3. i段 → 上一段・上二段
4. e段 → 下一段・下二段
5. **特殊形** はカ変・サ変・ナ変・ラ変（個別暗記）

ナ変・ラ変・カ変・サ変は暗記必須

- **ナ変**：「死ぬ」「往ぬ・去ぬ」の2語
- **ラ変**：「あり」「をり」「侍り」「いまそかり」の4語
- **カ変**：「来（く）」の1語
- **サ変**：「す」「おはす」の2語（複合動詞含めれば多数）

上一段「ひいきにみゐる」覚え方

上一段は「**ひいきにみゐる**」の語呂で覚える： - ひ（干る）・い（射る・鑄る）・き（着る）・に（似る・煮る）・み（見る）・ゐ（居る・率る）

🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。
こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

コツ① まず「特殊4種」（カ・サ・ナ・ラ変）を消去

9種類を一気に判別しようとするな。特殊4変だけ先に暗記してチェック： - カ変 → 「来」だけ - サ変 → 「す」「おはす」だけ - ナ変 → 「死ぬ」「往ぬ」だけ - ラ変 → 「あり」「をり」「侍り」「いまそかり」の4語

これに該当しなければ、残るは段活用5種（四段・上一段・上二段・下一段・下二段）。

コツ② 「ず」を付けて直前の音で段を判別（最速）

「ず」を付けて直前の音： - **ア段** → 四段（書か**ず**／a） - **イ段** → 上一段 or 上二段（見**ず**／i、起**きず**／i） - **エ段** → 下一段（蹴る） or 下二段（受け**ず**／e）

例：「書く」+「ず」→「書かず」→ア段→四段確定

コツ③ 上一段は「ひいきにみる」しかない（覚えればOK）

イ段で迷ったら、「ひいきにみる」に入っているかをチェック：-入っている→上一段-入っていない→上二段 下一段は「蹴る」1語のみなので、エ段で「蹴る」以外なら下二段。

コツ④ 「ず」をつけたら不自然な場合の代替テク

- 命令形で覚えてもOK：「○○よ」で終わるなら上一段・上二段・下二段
- 終止形が「u音」で終わる→四段・上二段・下二段が多い
- 終止形が「-iる」「-eる」で終わる→上一段・下一段の候補

試験本番でのチェック順序

1. 動詞を **特殊4変**（カ・サ・ナ・ラ変）か即チェック
2. 違えば **「ず」を付けて直前の音**を確認
3. ア段なら四段／イ段なら「ひいきにみる」をチェック／エ段なら下一段（蹴る）以外は下二段
4. 活用形は **下に続く語**で判断（ば→未然、けり→連用、体言→連体）

→この順番で **3秒** で答えが出ます。

よくある引っかけ

- 「来（く）」をカ行四段と誤答→カ変（特殊）
- 「あり」を四段と誤答→ラ変
- 「死ぬ」を上二段と誤答→ナ変
- 「見る」を四段と誤答→上一段（「ひいきにみる」の「み」）

採点表

- 基礎（Q1～Q20）： /20
- 標準（Q21～Q50）： /30
- 応用（Q51～Q80）： /30
- 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- 合計： /100

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

Q1. 活用の種類と活用形を答えよ。

書かず。

答え：四段活用「書く」未然形 解説：「書か」のa段+「ず」→四段未然。

Q2. 活用の種類と活用形を答えよ。

見る人。

答え：上一段活用「見る」連体形 解説：「見る」の連体形（語幹「み」+活用語尾「る」）。

Q3. 活用の種類と活用形を答えよ。

起きず。

答え：上二段活用「起く」未然形 解説：「起き」のi段+「ず」→上二段未然。

Q4. 活用の種類と活用形を答えよ。

受けず。

答え：下二段活用「受く」未然形 解説：「受け」のe段+「ず」→下二段未然。

Q5. 活用の種類と活用形を答えよ。

死ぬ。

答え：ナ行変格活用「死ぬ」終止形 解説：「死ぬ」はナ変、終止形「死ぬ」。

Q6. 活用の種類と活用形を答えよ。

あり。

答え：ラ行変格活用「あり」終止形 解説：「あり」はラ変、終止形「あり」。

Q7. 活用の種類と活用形を答えよ。

来けり。

答え：カ行変格活用「来」連用形「き」 解説：「来（き）」連用＋過去「けり」。

Q8. 活用の種類と活用形を答えよ。

旅す。

答え：サ行変格活用「旅す」終止形 解説：「旅す」サ変、終止形「す」。

Q9. 活用の種類と活用形を答えよ。

蹴る人。

答え：下一段活用「蹴る」連体形 解説：下一段は「蹴る」のみ。

Q10. 活用の種類と活用形を答えよ。

行かば。

答え：四段「行く」未然形 解説：「行か」のa段＋「ば」（仮定）→ 四段未然。

Q11. 活用の種類と活用形を答えよ。

寝ぬる所。

答え：下二段「寝（ぬ）」連体形「ぬる」 解説：下二段活用「寝（ぬ）」の連体形。直後に体言「所」が続くので連体形と確定（「寝ぬる」単体だと連用形＋完了「ぬ」連体形「ぬる」とも読めるが、ここでは下二段連体形）。

Q12. 活用の種類と活用形を答えよ。

過ぐれば。

答え：上二段「過ぐ」已然形「ぐれ」 解説：「過ぐれ」＋「ば」（原因）→ 上二段已然。

Q13. 活用の種類と活用形を答えよ。

御覧ぜさせたまふ。

答え：サ変「御覧ず」未然形「御覧ぜ」 解説：サ変の活用「ぜ/じ/ず/ずる/ずれ/ぜよ」。

Q14. 活用の種類と活用形を答えよ。

来（く）らむ。

答え：カ変「来」終止形「く」（読みは「くらむ」） **解説：**「来（く）」終止形＋「らむ」（終止形接続）。読みは「くらむ」（来ているだろう）。表記が「来らむ」だと「きらむ」と誤読されるので、ふりがな「く」を補う。

Q15. 活用の種類と活用形を答えよ。

起きたり。

答え：上二段「起く」連用形「起き」 **解説：**連用形＋「たり」（完了）。

Q16. 活用の種類と活用形を答えよ。

あらず。

答え：ラ変「あり」未然形「あら」 **解説：**「あら」のa段＋「ず」。

Q17. 活用の種類と活用形を答えよ。

仰せたまふ。

答え：下二段「仰す」連用形「仰せ」 **解説：**下二段の連用形「仰せ」＋尊敬「たまふ」。

Q18. 活用の種類と活用形を答えよ。

見よ。

答え：上一段「見る」命令形「みよ」 **解説：**上一段の命令形「～よ」。

Q19. 活用の種類と活用形を答えよ。

行く人。

答え：四段「行く」連体形「行く」 **解説：**四段は終止と連体が同形。体言「人」の前なので連体。

Q20. 活用の種類と活用形を答えよ。

来こ。

答え：カ変「来」未然形「こ」 解説：カ変の未然形「こ」。

基礎編 / 20

【第2部】標準編 (Q21~Q50)

Q21. 活用の種類と活用形を答えよ。

思はず。

答え：四段「思ふ」未然形「思は」 解説：a段+「ず」→四段未然。

Q22. 活用の種類と活用形を答えよ。

出でず。

答え：下二段「出づ」未然形「出で」 解説：e段+「ず」→下二段未然。

Q23. 活用の種類と活用形を答えよ。

落ちず。

答え：上二段「落つ」未然形「落ち」 解説：i段+「ず」→上二段未然。

Q24. 活用の種類と活用形を答えよ。

居ず。

答え：上一段「居る(ゐる)」未然形「ゐ」 解説：上一段の語幹のみで「ゐ+ず」。

Q25. 活用の種類と活用形を答えよ。

来つ。

答え：カ変「来」連用形「き」 解説：「き」連用+「つ」(完了)。

Q26. 活用の種類と活用形を答えよ。

行かむ。

答え：四段「行く」未然形「行か」 解説：a段+「む」→四段未然。

Q27. 活用の種類と活用形を答えよ。

寝ば。

答え：下二段「寝(ぬ)」未然形「寝(ね)」 解説：e段の未然「ね」+假定「ば」。

Q28. 活用の種類と活用形を答えよ。

死なば。

答え：ナ変「死ぬ」未然形「死な」 解説：ナ変未然「な」+「ば」。

Q29. 活用の種類と活用形を答えよ。

をりけり。

答え：ラ変「をり」連用形「をり」 解説：ラ変は連用形「り」。

Q30. 活用の種類と活用形を答えよ。

笑ふ人。

答え：四段「笑ふ」連体形「笑ふ」 解説：体言「人」の前→連体。

Q31. 活用の種類と活用形を答えよ。

過ぐる人。

答え：上二段「過ぐ」連体形「過ぐる」 解説：体言「人」の前→上二段連体「ぐる」。

Q32. 活用の種類と活用形を答えよ。

受くる人。

答え：下二段「受く」連体形「受くる」 解説：体言「人」の前→下二段連体「くる」。

Q33. 活用の種類と活用形を答えよ。

居れば。

答え：上一段「居る（ある）」已然形「居れ」 解説：上一段已然「ゐれ」＋「ば」。

Q34. 活用の種類と活用形を答えよ。

来れば。

答え：カ変「来」已然形「来（くれ）」 解説：「くれ」已然＋「ば」。

Q35. 活用の種類と活用形を答えよ。

すれば。

答え：サ変「す」已然形「すれ」 解説：「すれ」＋「ば」。

Q36. 活用の種類と活用形を答えよ。

思へども。

答え：四段「思ふ」已然形「思へ」 解説：e段の已然＋「ども」（逆接）。

Q37. 活用の種類と活用形を答えよ。

あれば。

答え：ラ変「あり」已然形「あれ」 解説：「あれ」＋「ば」（原因）。

Q38. 活用の種類と活用形を答えよ。

起きよ。

答え：上二段「起く」命令形「起きよ」 解説：上二段命令「iよ」。

Q39. 活用の種類と活用形を答えよ。

行け。

答え：四段「行く」命令形「行け」 解説：四段命令はe段。

Q40. 活用の種類と活用形を答えよ。

受けよ。

答え：下二段「受く」命令形「受けよ」 解説：下二段命令「eよ」。

Q41. カ変動詞「来」の命令形を答えよ。

答え：来（こ）／来（こ）よ 解説：古文のカ変動詞「来」の命令形は「こ」または「こよ」。現代語「こい」とは異なる。

Q42. 活用の種類と活用形を答えよ。

せよ。

答え：サ変「す」命令形「せよ」 解説：サ変命令「せよ」。

Q43. 活用の種類と活用形を答えよ。

死ね。

答え：ナ変「死ぬ」命令形「死ね」 解説：ナ変命令「ね」。

Q44. 活用の種類と活用形を答えよ。

あれ。

答え：ラ変「あり」命令形「あれ」 解説：ラ変命令「れ」。

Q45. 活用の種類と活用形を答えよ。

御覧ずる人。

答え：サ変「御覧ず」連体形「御覧ずる」 解説：サ変連体「ずる」。

Q46. 活用の種類と活用形を答えよ。

往ぬる人。

答え：ナ変「往ぬ」連体形「往ぬる」 解説：ナ変連体「ぬる」。

Q47. 活用の種類と活用形を答えよ。

鳴きたまふ。

答え：四段「鳴く」連用形「鳴き」 解説：i段の連用＋尊敬「たまふ」。

Q48. 活用の種類と活用形を答えよ。

居たり。

答え：上一段「居る（ゐる）」連用形「居（ゐ）」 解説：「ゐ」連用＋「たり」。

Q49. 活用の種類と活用形を答えよ。

落つれば。

答え：上二段「落つ」已然形「落つれ」 解説：上二段已然「うれ」＋「ば」。

Q50. 活用の種類と活用形を答えよ。

あらむ。

答え：ラ変「あり」未然形「あら」 解説：「あら」＋「む」（推量・意志）。

【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

複合動詞・敬語動詞・特殊形を含む。

Q51. 活用の種類と活用形を答えよ。

おはしけり。

答え：サ変「おはす」連用形「おはし」 解説：「おはす」はサ変、連用「し」＋「けり」。

Q52. 活用の種類と活用形を答えよ。

候はず。

答え：四段「候ふ」未然形「候は」 解説：a段＋「ず」→四段未然。

Q53. 活用の種類と活用形を答えよ。

帝、御物を賜ふ。

答え：四段「賜ふ」終止形「賜ふ」（尊敬） 解説：主語が「帝」で、目的語に「御物」をとり「お与えになる」の意。四段尊敬「賜ふ」の終止形。

Q54. 活用の種類と活用形を答えよ。

聞こえたまふ。

答え：下二段「聞こゆ」連用形「聞こえ」 解説：下二段の連用「え」＋「たまふ」。

Q55. 活用の種類と活用形を答えよ。

奉らせたまふ。

答え：四段「奉る」未然形「奉ら」 解説：a段の未然＋「せたまふ」（二重敬語）。

Q56. 活用の種類と活用形を答えよ。

参らせたまふ。

答え：四段「参る」未然形「参ら」 解説：a段の未然＋「せたまふ」。

Q57. 活用の種類と活用形を答えよ。

仰することば。

答え：下二段「仰す」連体形「仰する」 解説：「仰す」は下二段。連体「うる」。

Q58. 活用の種類と活用形を答えよ。

おぼし召す。

答え：四段「おぼし召す」終止形 解説：「おぼし召す」は四段（尊敬）。終止「す」。

Q59. 活用の種類と活用形を答えよ。

大殿籠らせたまふ。

答え：四段「大殿籠る」未然形「大殿籠ら」 解説：a段の未然＋「せたまふ」。

Q60. 活用の種類と活用形を答えよ。

御覧じけり。

答え：サ変「御覧ず」連用形「御覧じ」 解説：サ変連用「じ」＋「けり」。

Q61. 活用の種類と活用形を答えよ。

せむず。

答え：サ変「す」未然形「せ」 解説：「せ」未然＋「むず」（推量）。

Q62. 活用の種類と活用形を答えよ。

給はじ。

答え：四段「給ふ」未然形「給は」 解説：a段+「じ」（打消推量）。

Q63. 活用の種類と活用形を答えよ。

来ぬる。

答え：カ変「来」連用形「来（き）」 解説：「き」連用+完了「ぬ」連体「ぬる」。

Q64. 活用の種類と活用形を答えよ。

行かましかば。

答え：四段「行く」未然形「行か」 解説：a段+「ましかば」（反実仮想）。

Q65. 活用の種類と活用形を答えよ。

せば…まし。

答え：サ変「す」未然形「せ」 解説：「せば…まし」反実仮想。「せ」未然+「ば」。

Q66. 活用の種類と活用形を答えよ。

寝たりし人。

答え：下二段「寝（ぬ）」連用形「寝（ね）」 解説：連用「ね」+「たり」+「し」（過去連体）。

Q67. 活用の種類と活用形を答えよ。

来べし。

答え：カ変「来」終止形「く」 解説：終止+「べし」。

Q68. 活用の種類と活用形を答えよ。

過ぐらむ。

答え：上二段「過ぐ」連体形「過ぐる」+現在推量「らむ」 解説：上二段動詞「過ぐ」は終止形「過ぐ」、連体形「過ぐる」。「らむ」は終止形接続だが、上二段の場合は文末用法等で連体形「過ぐる」を伴う形が古文では一般的。「過ぐるらむ」の形で「(今ごろ) 過ぎているだろう」の意。

Q69. 活用の種類と活用形を答えよ。

あらむ。

答え：ラ変「あり」未然形「あら」 解説：「あら」＋「む」（推量）。ラ変は「らむ」の前で連体「ある」になる場合あり。

Q70. 活用の種類と活用形を答えよ。

思へり。

答え：四段「思ふ」已然形「思へ」 解説：四段已然「へ」＋「り」（完了。已然＋りの形式）。

Q71. 活用の種類と活用形を答えよ。

寝ねたり。

答え：下二段「寝（ぬ）」連用形「寝（ね）」 解説：「寝（ね）」連用＋「たり」（完了）。「寝ぬ」は下二段。

Q72. 活用の種類と活用形を答えよ。

来たらむ。

答え：カ変「来」連用形「来（き）」＋完了「たり」未然形「たら」＋推量「む」 解説：「来（き）」連用＋完了「たり」の未然形「たら」＋推量「む」で「来たらむ」。「（すでに）来ているだろう」の意。「たり」の終止＋「らむ」は「たりらむ」となり、「たらむ」にはならない点に注意。

Q73. 活用の種類と活用形を答えよ。

落ちにけり。

答え：上二段「落つ」連用形「落ち」 解説：i段の連用＋「に」（完了「ぬ」連用）＋「けり」。

Q74. 活用の種類と活用形を答えよ。

死にけり。

答え：ナ変「死ぬ」連用形「死に」 解説：ナ変連用「に」＋「けり」。

Q75. 活用の種類と活用形を答えよ。

往ぬ。

答え：ナ変「往ぬ」終止形「往ぬ」 解説：ナ変終止「ぬ」。完了助動詞「ぬ」と紛らわしいので注意。

Q76. 活用の種類と活用形を答えよ。

居たまふ。

答え：上一段「居る（ゐる）」連用形「居（ゐ）」 解説：上一段連用「ゐ」＋「たまふ」。

Q77. 活用の種類と活用形を答えよ。

見えず。

答え：下二段「見ゆ」未然形「見え」 解説：「見ゆ」は下二段。e段の未然「見え」＋「ず」。

Q78. 活用の種類と活用形を答えよ。

聞こえず。

答え：下二段「聞こゆ」未然形「聞こえ」 解説：下二段の未然「聞こえ」＋「ず」。

Q79. 活用の種類と活用形を答えよ。

来させたまふ。

答え：カ変「来」未然形「来（こ）」 解説：「こ」未然＋「させたまふ」（二重敬語）。

Q80. 活用の種類と活用形を答えよ。

思はれけり。

答え：四段「思ふ」未然形「思は」 解説：a段＋「れ」（受身・自発・尊敬「る」連用）＋「けり」。

【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

紛らわしい二段活用・特殊動詞・複合形態。

Q81. 活用の種類と活用形を答えよ。

飽かず。

答え：四段「飽く」未然形「飽か」 解説：「飽く」は古文では四段（現代語の「飽きる」は上二段化したもの）。注意。

Q82. 活用の種類と活用形を答えよ。

老いず。

答え：上二段「老ゆ」未然形「老い」 解説：「老ゆ」は上二段。i段の未然「老い」＋「ず」。

Q83. 活用の種類と活用形を答えよ。

恥ぢず。

答え：上二段「恥づ」未然形「恥ぢ」 解説：「恥づ」は上二段。i段の未然「恥ぢ」。

Q84. 活用の種類と活用形を答えよ。

経たり。

答え：下二段「経（ふ）」連用形「経」 解説：「経」（時間が経つ）は下二段。連用「経」。

Q85. 活用の種類と活用形を答えよ。

植うる木。

答え：下二段「植う」連体形「植うる」 解説：「植う」は下二段、連体「植うる」。

Q86. 活用の種類と活用形を答えよ。

据うる。

答え：下二段「据う」連体形「据うる」 **解説：**「据う」は下二段（ワ行）の動詞。「植う・飢う・据う」の3語のみ。終止形は「据う」、連体形は「据うる」。本問は「据うる」と表記されているので連体形に確定。

Q87. 活用の種類と活用形を答えよ。

言はれず。

答え：四段「言ふ」未然形「言は」 **解説：**a段+受身「る」未然「れ」+「ず」。

Q88. 活用の種類と活用形を答えよ。

知られず。

答え：四段「知る」未然形「知ら」 **解説：**a段+「れず」。

Q89. 活用の種類と活用形を答えよ。

干す。

答え：四段「干す」終止形「干す」 **解説：**「干す」は四段。一方「干（ひ）る」は上一段。混同注意。

Q90. 活用の種類と活用形を答えよ。

着たり。

答え：上一段「着る」連用形「着（き）」 **解説：**上一段連用「き」+「たり」。

Q91. 活用の種類と活用形を答えよ。

似たり。

答え：上一段「似る」連用形「似（に）」 **解説：**上一段連用「に」+「たり」。

Q92. 活用の種類と活用形を答えよ。

率る。

答え：上一段「率（ゐ）る」終止形or連体形「率（ゐ）る」 解説：「率る」は上一段。「ひいきにみ
ゐる」の「ゐ」。

Q93. 活用の種類と活用形を答えよ。

射たり。

答え：上一段「射る」連用形「射（い）」 解説：上一段連用「い」＋「たり」。

Q94. 活用の種類と活用形を答えよ。

鋳る。

答え：上一段「鋳（い）る」終止形or連体形「鋳る」 解説：「鋳る」は上一段（ヤ行）。

Q95. 活用の種類と活用形を答えよ。

干たり。

答え：上一段「干（ひ）る」連用形「干（ひ）」 解説：「干る」は上一段（ハ行）。「干（ひ）」＋
「たり」。

Q96. 活用の種類と活用形を答えよ。

越ゆ。

答え：下二段「越ゆ」終止形「越ゆ」 解説：下二段（ヤ行）。

Q97. 活用の種類と活用形を答えよ。

燃ゆ。

答え：下二段「燃ゆ」終止形「燃ゆ」 解説：下二段（ヤ行）。

Q98. 活用の種類と活用形を答えよ。

老ゆ。

答え：上二段「老ゆ」終止形「老ゆ」 解説：上二段（ヤ行）。

Q99. 活用の種類と活用形を答えよ。

強ふる。

答え：上二段「強ふ」連体形「強ふる」 解説：上二段（ハ行）連体「ふる」。

Q100. 次の文中の動詞の活用の種類と活用形をすべて答えよ。

来たりければ、見ずして死にけり。

答え： - 「来（き）」：カ変連用形 - 「たり」：完了助動詞ラ変連用形 - 「ければ」：過去「けり」已然形 + 「ば」 - 「見」：上一段「見る」未然形 - 「ず」：打消助動詞 - 「死に」：ナ変「死ぬ」連用形 - 「けり」：過去助動詞終止形

解説：動詞だけ取り出すと「来（カ変連用）」「見（上一段未然）」「死に（ナ変連用）」。

総合判別問題。

入試レベル /20

採点振り返り

- 基礎 (Q1~Q20) : /20
- 標準 (Q21~Q50) : /30
- 応用 (Q51~Q80) : /30
- 入試レベル (Q81~Q100) : /20
- 合計 : /100

あとがき

動詞活用の核心： - 「ず」をつけて **直前の音** で判別 - a → 四段、i → 上一/上二、e → 下一/下二 - **特殊**：カ変・サ変・ナ変・ラ変 - 上一段「ひいきにみゐる」、下一段「蹴る」、ラ変「あり・をり・侍り・いまそかり」は **暗記** - 「賜ふ」は四段（尊敬）と下二段（謙譲）の **両用**

活用は **古文の絶対基礎**。これがわかれば、助動詞接続も判別できる。

著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

© 個別指導塾フィット / 中本裕太 <https://kotennosensei.com>